

TSURUGA

3585
ユーティリティソフト
MODEL 5890-19

操作説明書

2019.10.17
I-02434

もくじ

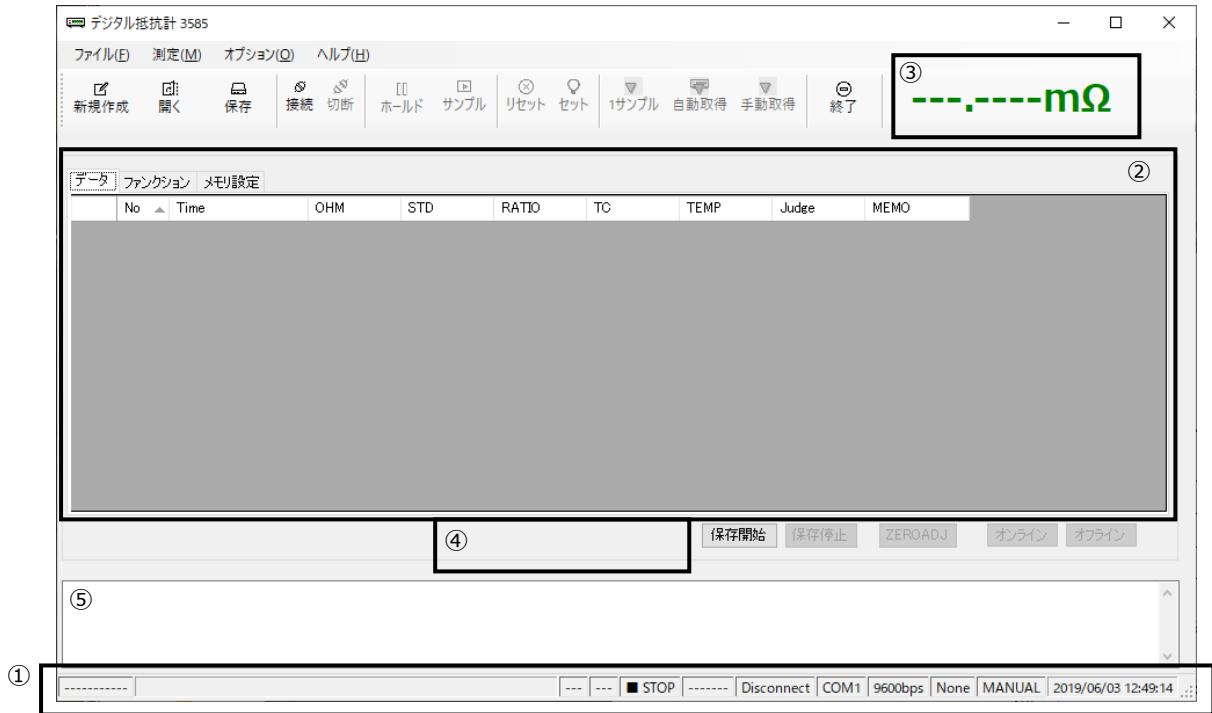
1. ユーティリティソフトの起動	1
2. 通信設定	2
3 通信開始	3
3-1 ステータスバー	3
3-2 測定データの表示・取得.....	4
3-2-1 手動取得.....	4
3-2-2 自動取得.....	4
3-2-3 ワンサンプリングで取得	5
3-2-4 異常発生時の動作	5
3-3 判定データの表示	5
3-4 測定データの保存	6
4 オンライン/オフライン/ゼロアジャスト	7
4-1 ゼロアジャスト	7
5 データタブ	8
5-1 操作.....	8
5-2 設定.....	9
5-3 編集.....	9
6 ファンクションタブ	10
7 メモリー設定タブ	11
7-1 メモリー設定のファイルへの保存	11
8 制御	12
8-1 ボタン.....	12
9 バージョン	13
10 プログラムのインストール/アンインストール	14

1. ユーティリティソフトの起動

3585 の通信ケーブルを接続し、電源を投入します。

デスクトップまたはスタートメニューの「3585 Utility」からソフトを起動します。

[起動画面]



① ステータスバー

各種情報を表示します。

② タブエリア 機能によりタブを切替えて使用します

データ	受信した測定データを保存します
ファンクション	機能設定をします
メモリー設定	設定メモリーの一括設定をします

③ 測定データ表示エリア

受信した測定データを表示します。接続中はクリックすると値を更新します。

④ 判定表示エリア

コンパレータの判定結果を表示します

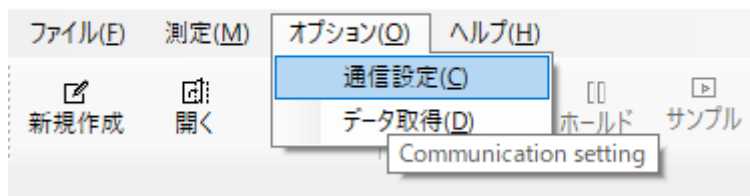
⑤ 通信エリア

「終了」ボタンでユーティリティソフトを終了します。

2. 通信設定

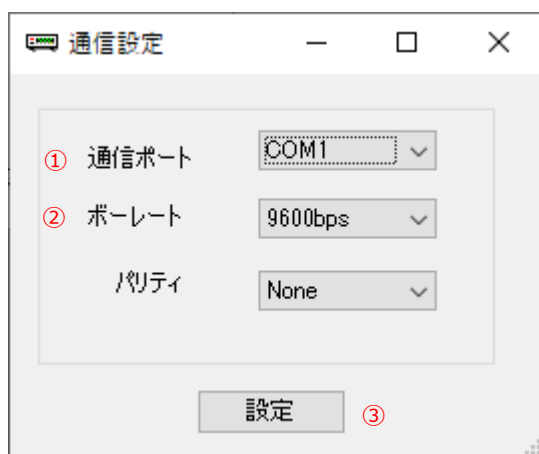
メニュー「オプション (O)」から、「通信設定 (C)」をクリックすると通信設定フォームが現れます。
ユーティリティソフトの起動後は必ず設定をする必要があります。

デジタル抵抗計 3585

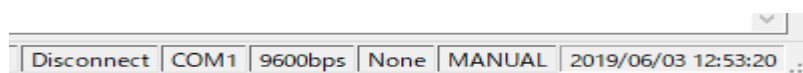


通信インターフェースを設定します。

- ① 接続する COM ポート番号を選択します。
- ② 通信速度 3585 の設定に合わせます。
- ③ 設定後「設定」ボタンで設定ダイアログを閉じステータスバーに設定を表示します。



ステータスバーでの表示



ポート 速度 パリティ

3 通信開始

通信設定後「接続」ボタンをクリックすると通信ポートを開きます。

接続ボタンが有効になっていない場合は、通信設定を行ってください。

接続時に 3585 の現在の設定を読み出します



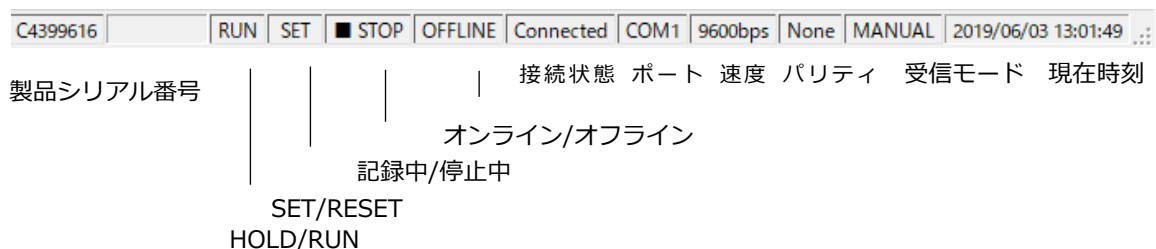
「切断」ボタンをクリックすると通信を切断します。



3585 と通信が出来ない場合、タイムアウト・エラーが発生します。通信を切断して設定を確認してください。接続に成功すると、ステータスバーに 3585 の現在の状態が表示されます

3-1 ステータスバー

ステータスバーは 3585 の現在の状態を表示します



3-2 測定データの表示・取得

測定データ表示エリアに受信した測定値が表示されます



3-2-1 手動取得

次の方法で手動操作により、測定データを受信して表示できます。

設定中・自動取得中は手動で受信することは出来ません。

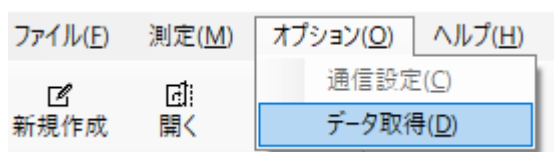
1. 測定データ表示エリアをクリックする
2. メニュー「測定 (M)」から、「データ受信 (Alt+R)」をクリックする

3-2-2 自動取得

測定データを定期的受信するためには、自動取得の機能を使用します。

設定すると一定間隔で DATA? コマンドを発行して測定データを取得し続けます。

ホールド中には自動取得は選択出来ません。外部でホールド中に自動取得を行うと同じ値が取得されます。



取得間隔の設定をメニュー「オプション (O)」から、「データ取得(D)」をクリックして行います。



データ取得設定のダイアログが開きますので、自動取得間隔の秒数を 0.2~1800 秒で設定してください。

設定が完了したら「保存」ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



メニューの「自動取得」ボタンをクリックすると自動取得が開始されます。

手動取得をクリックすると自動取得が手動取得に戻ります。

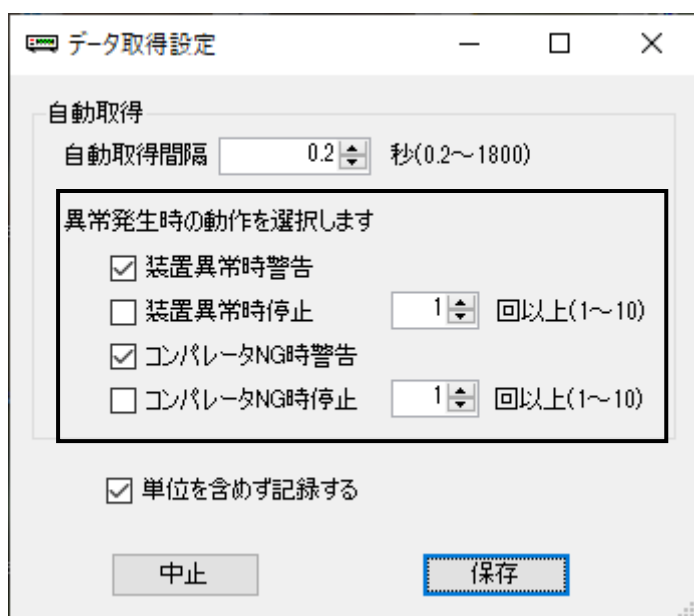
3-2-3 ワンサンプリングで取得



ホールド中に 3-2-1 手動取得と同じ操作を行うか 1 サンプルボタンをクリックすると、READ? コマンドでワンサンプリングを行い、測定データを受信します。

ワンサンプリング中のコンパレータ出力を抑制する場合は RESET 状態にしてから実行してください。

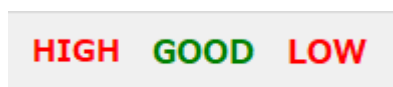
3-2-4 異常発生時の動作



異常発生時の動作設定をメニュー「オプション (O)」から、「データ取得(D)」をクリックして行います。

- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| ・装置異常時警告 | エラー発生時、測定データ表示エリアが点滅します |
| ・装置異常時停止 | エラー発生データが指定回数連続して受信されると自動取得が解除されます |
| ・コンパレータ NG 時警告 | コンパレータ NG 時、測定データ表示エリアが点滅します |
| ・コンパレータ NG 時停止 | コンパレータ NG が指定回数連続して受信されると自動取得が解除されます |

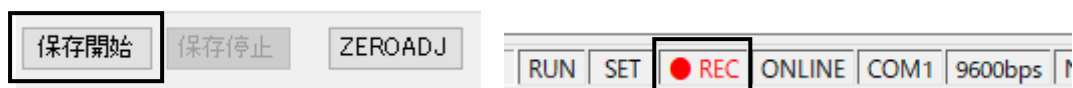
3-3 判定データの表示



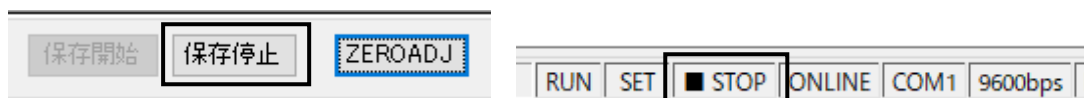
- ・コンパレータの判定結果が表示されます。
- ・温度測定機能を選択している場合、3585 が RESET 状態の場合で、判定出力が無い状態では表示しません。

3-4 測定データの保存

受信した測定データはデータタブに蓄積して、ファイルに保存することが出来ます。



- ・データを保存する場合は「保存開始」ボタンをクリックすると保存が開始されます。
- ・保存中はステータスバーの表示が「●REC」に変わります。



- ・データの保存を中止する場合は「保存停止」ボタンをクリックすると保存が中止されます。
- ・停止中はステータスバーの表示が「■STOP」に変わります。

データ		ファンクション	メモリ設定						
No	Time	OHM	STD	RATIO	TC	TEMP	Judge	MEMO	
4	2019/03/13 14:41:24	300.01Ω					GOOD		
3	2019/03/13 14:41:22	300.01Ω					GOOD		
2	2019/03/13 14:41:20	300.01Ω					GOOD		
▶ 1	2019/03/13 14:41:19	300.01Ω					GOOD		

- ・データの保存中は受信した測定データが、データタブに蓄積されます。

4 オンライン/オフライン/ゼロアジャスト



接続が完了していれば、オンライン・オフラインの切替えボタンが有効になります。

- ・オンラインで 3585 に設定値の送信や HOLD/RUN、RESET/SET の制御が出来るようになります。
- ・オフラインの状態では 3585 の測定値や設定データの受信のみ可能です。

- ・「オンライン」ボタンを押すと 3585 にオンラインを送信しオンラインに切替わります。

また、ステータスバーの表示が「ONLINE」に変わります。

3585 はオンライン状態になると画面に接続アイコンを表示します。



- ・「オフライン」ボタンを押すと 3585 にオフラインを送信しオフラインに切替わります。

また、ステータスバーの表示が「OFFLINE」に戻ります。

4-1 ゼロアジャスト



- ・オンライン状態になると「ZEROADJ」ボタンが有効(TEMP 機能では無効)になります。
- ・「ZEROADJ」ボタンを押すと 3585 に ZEROADJ を送信し、現在の測定値がゼロアジャストに設定され、ゼロアジャストが有効になります。

5 データタブ

受信した測定データを保存するタブです

	No	Time	OHM	STD	RATIO	TC	TEMP	Judge	MEMO
	5	2019/03/13 15:16:58					25.3°C		
	4	2019/03/13 15:16:48	293.89Ω	300.00Ω	97.9%			GOOD	
	3	2019/03/13 15:16:36	300.02Ω			293.89Ω	25.3°C	GOOD	
	2	2019/03/13 15:16:26	300.01Ω	300.00Ω	100.0%			GOOD	
▶	1	2019/03/13 15:16:19	300.02Ω					GOOD	

- ・受信した測定データを保存します。
- ・保存したデータはファイルに出力したり、ファイルから読み込むことが出来ます。
- ・受信データを保存するためには、保存開始を設定してください(3-4 測定データの保存)。
- ・保存される項目は、測定機能により異なります。
- ・保存できるデータは約 6 万レコードです。自動受信中に保存できなくなった場合、自動受信は解除されます。

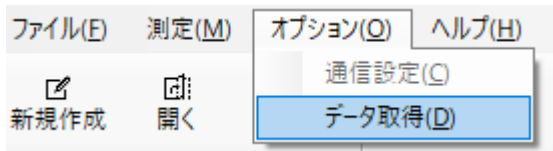
5-1 操作



- ・新規作成 保存した測定データを削除して新規に開始します
- ・開く ファイルに保存した測定データを取り込みます
- ・保存 保存した測定データをファイルに保存します

5-2 設定

記録するフォーマットについてメニュー「オプション (O)」から、「データ取得(D)」をクリックして設定を行います。



- ・☑を入れると単位(Ω,% ,℃)を付けず、抵抗値はΩに統一されて保存されます。
例 30mΩ → 0.030000 , 3kΩ → 3000.0

5-3 編集

蓄積されたデータを削除・編集・再測定が出来ます

No	Time	OHM	STD	RATIO	TC	TEMP	Judge	MEMO
10	2019/06/03 14:45:27	29.891Ω					LOW	
9	2019/06/03 14:45:27	29.891Ω					LOW	
8	2019/06/03 14:45:26	29.891Ω					LOW	
7	2019/06/03 14:45:26	29.891Ω					LOW	
6	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	
5	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	
4	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	

- ・削除・編集したい項目の上で右クリックをするとメニューがでます。
- ・削除をクリックすると選択した測定データは削除されます。削除された No は再利用されません。
- ・編集をクリックすると選択した各項目が編集できます。

8	2019/06/03 14:45:26	29.891Ω					LOW	
7	2019/06/03 14:45:26	29.891Ω					LOW	
6	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	
5	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	

- ・再測定→セットを行うと、次の受信データでその行は上書き(再測定)されます。
- ・再測定待ち受け中の行は太文字に強調されます。再測定待ち受けを解除するには解除をクリックしてください。

9	2019/06/03 14:45:27	29.891Ω					LOW	
8	2019/06/03 14:45:26	29.891Ω					LOW	
7	2019/06/03 14:49:24	29.891Ω					LOW	再測定データ
6	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	
5	2019/06/03 14:45:25	29.891Ω					LOW	

- ・再測定されたデータは MEMO 欄に「再測定データ」の記録が残ります
- ・ヘッダーをクリックするとデータの並べ替えができます。

6 ファンクションタブ

3585 の設定を行うタブです

データ	ファンクション	メモリ設定	
サンプリング	SLOW	メモリ	
アベレージ	1	メモリ番号	No.01
定電流制御	OFF	ファンクション	OHM
プザー	OFF	レンジ	300Ω
音量	3	コンパレータ	
継続時間	連続	上限	30.000 mΩ
		下限	10.000 mΩ
		レンジ	30mΩ
		基準抵抗値	
		基準抵抗値	200.00 Ω
		レンジ	300Ω
		比率	10.0 ± Δ%
		ゼロアジャスト	
		引く抵抗値	300.00 Ω
		レンジ	300Ω
		有効	ON
		温度補正	
		基準温度	20.0 °C
		温度係数	3930 ppm
		受信(L)	送信(S)
		保存(W)	

- ・自動取得中は操作できません。オフライン時には受信しか行えません。
- ・オンライン時にメモリー番号を操作すると自動的にメモリー切替えと再受信を行います。
- ・「受信」をクリックすると設定を受信します。
- ・設定を変更した後に「送信」をクリックすると設定を送信します。
- ・設定の送信は一時的な変更であるため、設定を不揮発メモリーに保存する場合は「保存」をクリックしてください。

7 メモリー設定タブ

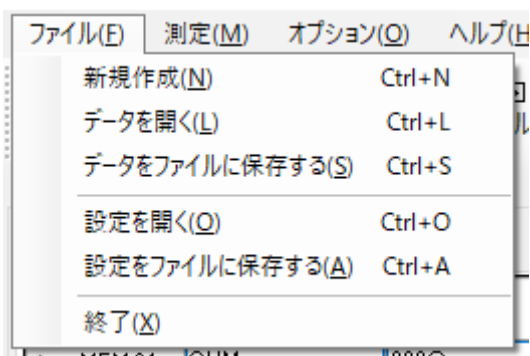
メモリー設定を一括で行うタブです

	ファンクション	レンジ	上限	下限	コンパレータ レンジ	基準 抵抗	基準抵抗 レンジ	基準抵抗 比率	0ADJ	アジャ スト値	0ADJ レンジ	基準 温度	温度 係数
MEM.01	OHM	300Ω	30.000	10.000	30mΩ	200.00	300Ω	10.0	ON	300.00	300Ω	20.0	3930
MEM.02	TEMP	300Ω	300.04	100.00	300Ω	300.00	300Ω	10.0	OFF	300.01	300Ω	20.0	3930
MEM.03	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.04	OHM	30Ω	30.000	10.000	30Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.05	OHM	300Ω	300.00	100.00	300Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.06	OHM	3kΩ	3.0000	1.0000	3kΩ	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.07	OHM	30kΩ	30.000	10.000	30kΩ	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.08	OHM	300kΩ	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.09	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.10	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.11	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.12	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.13	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.14	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930
MEM.15	OHM	3Ω	3.0000	1.0000	3Ω	3.0000	3Ω	10.0	OFF	0.0000	3Ω	20.0	3930

全書き込み(W) 全読み出し(B)

- ・オフライン時には使用できません。
- ・オンライン時、メモリー設定を切替えて、メモリー設定の読み書きを一括で行います。
- ・「全読み出し」をクリックするとメモリー設定の読み出しを一括で行います。
- ・「全書き込み」をクリックするとメモリー設定の書き込みを一括で行います。
- ・メモリー設定を不揮発メモリーに保存する場合はファンクションタブの「保存」をクリックしてください。

7-1 メモリー設定のファイルへの保存



- ・メモリー設定はファイルに保存できます
メニュー→ファイル(F)→設定をファイルに保存する(O)をクリックします
- ・メモリー設定はファイルから読み出せます
メニュー→ファイル(F)→設定を開く(O)をクリックします

8 制御

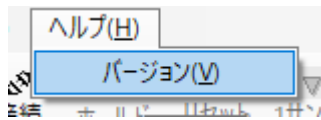
8-1 ボタン



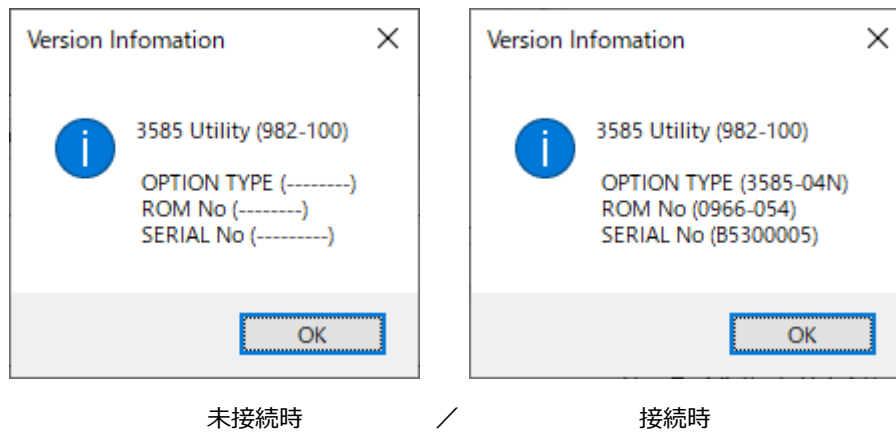
- ・新規作成 データタブの受信データをクリアして新規作成を行います。
- ・開く データタブにファイルから受信データを取り込みます。
- ・保存 データタブに受信した測定データをファイルに保存します。
- ・接続 通信ポートを開いて測定器と接続します。
- ・切断 通信ポートを閉じて通信を切断します。
- ・ホールド 3585 を HOLD 状態にします。
- ・サンプル 3585 を RUN 状態にします。
- ・リセット 3585 を RESET 状態にします。
- ・セット 3585 を RESET 解除状態にします。
- ・1 サンプル HOLD 時に 1 サンプリングを行い測定データを受信します。
- ・自動取得 測定データの自動受信を行います。
- ・手動取得 測定データの手動受信を行います。
- ・終了 本ソフトを終了します。

9 バージョン

ユーティリティのバージョン情報を表示します。



- ・メニュー→ヘルプ (H)→バージョン (V)をクリックします



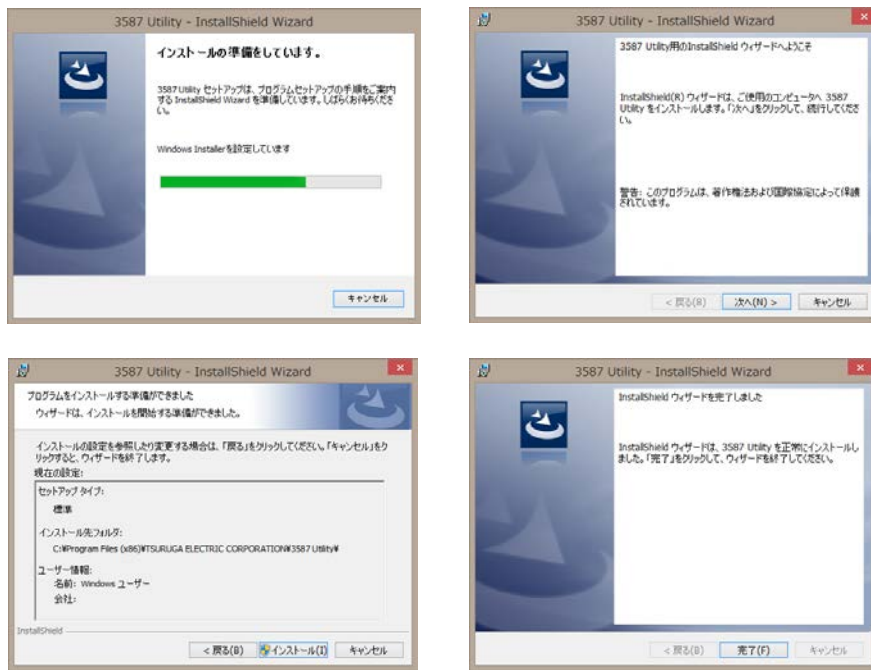
- ・3585 に接続時は、接続している 3585 のオプション・ROM 番号・シリアル番号が表示されます。

10プログラムのインストール/アンインストール

【プログラムのインストール】

セットアップ CD を開き、「Setup」を実行します。

インストーラーの画面に従ってインストールを行います。



インストールが完了すると、スタートメニューとデスクトップに「3585 Utility」のアイコンが作成されます。

【プログラムのアンインストール】

コントロールパネルの「プログラム」 - 「プログラムと機能」を選択します。インストールされているプログラムリストが表示されますので「3585 Utility」を選択してプログラムを削除します。

・ Windows10、Windows8 のコントロールパネルの開き方

デスクトップのウインドボタンの上にマウスカーソルを移動して、マウスの右ボタンをクリックするとリストが現れます。リスト中の「コントロールパネル(P)」にマウスカーソルを移動させ、マウスの左ボタンをクリックするとコントロールパネルが開きます

●この操作説明書の内容は、2019年10月現在のものです。

本製品の技術的なご質問、ご相談は下記まで問い合わせください。

技術サポートセンター

0120-784646

受付時間: 土日祝日除く 9:00~12:00/13:00~17:00

鶴賀電機株式会社

本社営業部

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉1丁目3番23号
TEL 06 (6692) 6700(代) FAX 06 (6609) 8115

横浜営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜1丁目29番15号
TEL 045 (473) 1561(代) FAX 045 (473) 1557

東京営業所

〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目25番16号
TEL 03 (5789) 6910(代) FAX 03 (5789) 6920

名古屋営業所

〒460-0015 名古屋市中区大井町5番19号
サンパーク東別院ビル2F
TEL 052 (332) 5456(代) FAX 052 (331) 6477

www.tsuruga.co.jp